



# 新しい生活様式が定着した今、 これからの家づくりの手本となる要素が ふんだんに盛り込まれた先駆的な家。

CEO / 一級建築士: 岸田匡史さん

今回の家づくりにおいては、私がかねてから思索していたコロナ対策に有効な動線と、Sさまご夫婦が望まれていたリビングと家事動線のイメージがくしくも一致。実は、コロナのような感染症対策に有効な動線は、平常の生活においても家事がしやすい、育児にも安心など、普遍的な住みよさと一致することが多いです。そこからSさまのライフスタイルや好みなど、理想とする快適性の実現を目指して、一緒に検討しながらプランを練っていきました。

まず、コロナ対策としては次の四つに留意しました。①ウイルスを水回りの動線で除去し、LDKや居室エリアに持ち込まない ②通風による自然換気と十分な採光 ③テレワークに対応できること、ステイホームで家族の絆が深まるプランニング ④万一感染した時のために隔離できる部屋を確保しておくこと。

①については、Sさまが話されたように、コロナ以前から計画していた衛生的な動線と合致していたことも今回の家づくりの特徴の一つで、水回りエリアとLDKの2方向に動線を分けることで実現しました。同時に、回遊動線で2方向を結び、結果、1階全体をぐるりと回れるという、家事の利便性もかなえています。リビングの吹き抜けは開放感を創出するだけでなく、通常の天井に比べて効率良く、

自然換気が行える上に光を招き、この提案もご主人が希望していた「電気に頼らない家」、採光豊かな空間づくりにつながっています。ダイニングに設けたスタディーカウンタはテレワークに便利なのはもちろんですが、お子さまの成長とともに、家族みんなで学び合う楽しさを体験したり、知的好奇心を共有する場として活用されると思います。

これらのことから、Sさまの家はコロナ対策のみにとどまらず、施主さまの思いに寄り添いながら、さらに収束後も見据えた好例になるのではないかと思います。

もう1点特筆すべきことは、奥さまが「整理整頓」された気持ちいい暮らしを大切にされていることです。整理整頓の習慣化は昔からの教えですが、お子さまの自立心の成長や、気づき、思いやりなどを養うことにもひもつぎ、弊社でも整理整頓アドバイザーによるサポートを行っています。

HARMO designは、デザインを十分に理解したクラフトマンシップあふれる工務店と一体となって家を造り上げるアーキテクトビルダーです。最大の特徴は、お客さまそれぞれのライフスタイルにフィットした明確なコンセプトプランから始める家づくり。HPで多数の実績紹介を行っていますのでお目にかけていただければ幸いです。



1. 2階北側に配置した主寝室は余分な物を置かず、熟睡できるようダークカラーでコーディネート。お子さんがまだ小さく家族4人で就寝
2. 清潔感を高めつつ質感のあるパネルで表情を演出したバスルーム。水栓回りのカウンターをなくすことでカビなどの発生を抑えている
3. 入り口から見る玄関とLDK側の動線。正面はリビング、右はトイレ。踏み台は工務店の造作でデザインも長持ちする工夫も扱いやすさも満点
4. おばあちゃん猫「梅」さんの部屋、キャットゲージ。質感にこだわった鉄格子は鉄工所で製作した本格派。内装材は傷がつきにくく手入れがしやすいメラミン化粧版

## 家づくりのヒント

一級建築士事務所  
HARMO design (ハルモデザイン) 株式会社

豊見城市豊見城574-20  
TEL.098-996-4810 <https://okinawamokuzou.com>  
harmo0323@gmail.com

### 外で使うものは中に持ち込まない。玄関回りからすっきり

昔ながらの日本家屋の知恵「土間収納」を今様にアレンジしたSさん宅。玄関から水回りに続く側にL型で配置され、脱いだ靴は手間をかけずにすっと定位置に納められるよう、オープン収納になっています。整理整頓を極めたSさん宅らしい収納プランですが、オープンタイプは通気性が高く清掃のたやすさも強み。また、物が見えることで整理への意識が高まるとも言われ、玄関の清潔感をキープする方策の一つになりそうです。

